

第十七期登山学校

第八回講座

「雪山入門」講座

第十七期受講生

中川昌行記

【机上講習】

今年の正月には多くの山岳遭難事故が発生し、講習はしっかり聞かなければという気持ちで参加した。講座では、軽部先生から雪山での装備とその使い方、アイゼンを使った歩き方、悪天候時の対処法、雪崩の原理と対処法、低温下での危険などを実体験などを交えながらお話しいただいた。

特に登山学校に入校するきっかけとなった歩き方では、夏山での歩き方との違いを理解することができた。

装備では、翌日の自分の装備（夏山装備に毛が生えた程度）と比べながら聞いていると少し不安になってきた。

講習終了後、目出帽だけは購入しようかと店を覗くがおいてなかったため、そのまま翌日へ。

午後の後半では、高橋先生から雪崩にあった時の捜索に使うビーコンの使い方を教わった。

実際に雪崩に合わないようにすることが大事では

あるが、その後の対処まで知識として持っておく必要があることを再認識した。

【実技講習】

前日に那須岳付近の予想天気をネットで確認したとことでは、山頂付近の気温-10、風速23メートル、曇り。

体感気温は-30以下になるので、本当にこの装備で大丈夫か少し不安になった。不安な装備は、目出帽、スパツ無し。手袋は数年前のスキー用。防寒着は、数年前の防寒コート。

東武東上線の柳瀬川から貸切バスで出発。天気は、快晴。スカイツリーがきれいに見えた。

バスの中では、雪山登山講習のDVDで復習。気象状況に不安を感じながらこんなにも穏やかならいいなと思った。那須のインターに近づくとつれバスが左右に揺れているのを感じ、回りの木を見るとかなり強い風が吹いているのがわかった。

準備を行う「お菓子の城」駐車場では、強風で雪が舞

っていた。

防寒着の下には、セーターを着ることにした。ズボンには、合羽を着こみスパツの代わりに足首を合羽とズボンのゴムでしっかりと締めた。

靴下は、一枚のままと二枚重ねを悩んだ末、一枚のみとした。

再びバスに乗り込み、大丸温泉へ向かう。車内は緊張した雰囲気の流れていた。

押し固められた雪の駐車場に到着し、転ばないように下車。風で雪が舞っている。気温は-9。

すぐにアイゼン（私は六本爪の軽アイゼン）をつけ、班ごとに登山を開始した。

準備運動は強風のため行わず、ゆっくり歩くことで代用となり、ゆっくりと雪の中を登っていった。

途中、道路を横切るところで耐風姿勢の練習をした。ザックを揺すって強風に耐えられるか確認。最初は耐えられ前につんのめった。

足の開き方とピッケルへの体重のかけ方が不足しているのかと感じたが、高橋先生から「8点」と言われ何とかなるかと少し安心。

ロープウエーの建物で小休止をとった。

ゆっくり歩いているのに体からは、汗が噴き出してきていたのでセーターを脱いだ。

峠の茶屋跡駐車場では、雪がなく、アスファルトの上は一面の氷がはっていた。

アイゼンをつけているおかげで、滑ることもなく進むことができた。

しかし、遮るものがないので、フードはしても風と巻き上がった雪がもろに顔にあたった。

ゆっくりと登っていくと鳥居が現れたが、雪が積もっていて潜れず脇を通った。

このあたりから時々足が雪に突き刺さって倒れそうになり、雪が深いことを実感した。

また、雪が深いところは、風があまり強くなく舞い上

がった雪だけが落ちてきていた。

樹林帯がなくなったところに出た途端、強風に見舞われた。そのためか、雪がな

く岩が見えている。耐風姿勢の重要性を認識してきた。

駒崎先生から一方向から風を受けないように注意が飛ぶ。むぎ出しの肌が凍傷になっ

てしまわないための予防策とのこと。目出帽の必要性を感じる

が、短時間ならなくても何とかなるのかなとも感じた。運営委員で協議の結果、登山はここまでとなり、記念

写真を撮って同ルートで下山を開始する。気温は-12。

下山途中、左手にぼんやりと那須岳が見えた。峠の茶屋跡駐車場手前

にある東屋でアイゼンを外して、東屋で行動食をとった。

おにぎりは、凍って食べられないと聞いていたので、保温袋に入れて携行。無事凍ることもなく食すること

ができた。

保温袋に入れたペットボトルの水もまだ氷ることなく飲んでいた。ザックのポケットのペットボトルは、少し凍りだした様子でした。

体を温めるために持つてきたカップ味噌汁は、寒さで箸が使えないような気がして手を出さず。

後から考えれば、箸の使い方を考えれば飲めたのかも思う。また、寒い中の食事はフオークも持つていた方が便利なのかなとも感じた。

この休憩で、行動が止まったせいで左手の薬指と左足の中指が痛くなってくる。

前日の机上講習で、教えられた「動かして体を温める」を思いだし、手と足の指を開いたり閉じたりしてみた。

しかし、感覚に変化はない。そうこうしている間に出発準備となり、手の指は少し回復してきた。

ほんの少しの運動で回復することが実感できた。

運営委員の方が掘った雪洞

行動食の注意で飲み物はぬるめのお湯がサッパリしていて寒い時には暖まる、おにぎりは冷たいのでパンがいいですよと教えて頂き助かりました！お度での食事は寒かった！小松先生が振る舞ってくれたお餅入りのお汁粉、お度で食べるお汁粉はものすごく美味しかったです！

お汁粉の後は、雪崩の勉強と弱層テスト、本当にパカッと容易に断面がずれました、雪山でのビーコンの大切さも理解できました。

横穴式雪洞を先生方が掘ってくださり雪洞に入ったりと盛り沢山の授業が続きます。

下山する途中、ラッセルで坂を登る練習をしましたが、足が雪にズブズブ入り足下が崩れるばかりでとうとう登れませんでした：：若者達はシツカリ登れてましたあ。

十四時二十七分 1班
大丸温泉駐車場に無事に到着！

ホッとして帰りのバスでは爆睡、回ってきたマイクに驚き、寝ぼけていてキチンと挨拶できませんでした、すみません・・・。

1班松本、雪山は寒かったです、装備、事前の準備、地図、コンパス、行動食、雪崩、遭難、沢山の事を学び感謝です！

1班で一緒に愛さん、優しくフォローしてくれてありがとう。

先生方、レベルの違う私達を分け隔てなくご指導くださり心から感謝しております、最後の授業も楽しかったです、有り難うございました。